

ダイちゃんの店& 営大祭のお知らせ



※写真は昨年の様子

農産物直売所「ダイちゃんの店」は、定期直売実習として、学生が消費者との対面販売を通じて農産物直売のノウハウを身につけることを目的に行っており、今年で13年目になります。

昨年度から、販売場所を営農大学校内から道の駅「七彩館」に変更しており、今年度も同様に実施します。

今年度は、7月から11月までの計5回開催予定です。販売品目は、トマト、きゅうり、だいこん、ごぼう、ながいも、ぶどう、りんごなどを予定しています。当校自慢の野菜や果物をぜひご賞味ください。

「営大祭」は、10月28日の土曜日、29日の日曜日に開催され、農産物販売も行います。

学生が丹精込めてつくった営農大学の農産物・畜産物を取り揃え、皆様のお越しをお待ちしています。

(開催日程)

回数	月日	時間
第1回	7月 7日(金)	10:00~11:30 13:30~14:30
第2回	9月 1日(金)	
第3回	9月15日(金)	
第4回	10月 6日(金)	
第5回	11月24日(金)	

営大通信



第51号

令和5年6月28日

発行

青森県営農大学校興農会
会長 小川 広徳
青森県営農大学校後援会
会長 川村 学
青森県上北郡七戸町大字大沢48-8
TEL 0176-62-3111

校長挨拶



校長 蝦名照仁

この度、営農大学校長を命じられた蝦名と申します。営農大学には9年前に指導職員として勤務しました。再度、新たな気持ちで希望に満ちあふれた学生と接することに、喜びを感じております。

さて、本校は、地域農業の中核的担い手を養成することを目的に創設され、現在では、農業を支える多様な人財を育成する専修学校となり、教育方針として、農業に関する教育を行うほか、学生自治会の活動を通じて豊かな人間性を養うことを掲げています。

このため、本校では、高度な農業技術と経営管理能力、社会情勢の変化に対応できる知識と技能として、食品加工技術やマーケティング手法などを学ぶ「6次産業化コース」を開設するとともに、新たにロボットトラクターやドローンなどの機材を導入し、先端技術を活用したスマート農業やGAP、農福連携などに対応したカリキュラムの充実・強化に努めております。

また、平成25年に策定した「青森県営農大学校ランドデザイン」に基づき、学生の生活環境の充実、施設老朽化対策にも取り組んでおり、これまでに男子寮や教室、管理棟の改修、食堂、男子風呂の改修、学生寮各部屋へのエアコン設置などを終え、今年度は、新しい牛舎の建設に着手したところです。更に次年度からの新たな計画の策定も進め、更なる環境改善に努めています。

本校に入校した学生が、「実践」「創造」「友情」の校訓の下、しっかりとした目的意識と「自ら学ぶ」という気概を持って勉学に励み、仲間と切磋琢磨し、青森県農業を担う人財へと成長できるよう、教職員一丸となって指導して参りますので、保護者並びに関係者各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

後援会長挨拶

今年度、営農大学校の後援会長を務めさせていただく川村です。

営農大学校の魅力といえば、農耕用けん引免許をはじめ、家畜人工授精師や農業用ドローン等の資格が20種類以上あり、在学中に取得可能であることだと思います。その中から将来を見据えて必要な資格を選択するため、ぜひ保護者の方はアドバイスをお願いします。そして、就農時に「即戦力」となれるよう後援会としても応援していきたいです。

最後に、学生達の進化が新しい農業を生み、青森県が発展してくれることと期待しています。



後援会長 川村 学

校長



蝦名 照仁

総務課



古林 素子

教務研修課



下田 有紀



佐々木直子



石井 翔

新任職員紹介

農産園芸課



工藤 秀樹



雪田 隆史



井澤 拓哉



種市 弥枝

畜産課

転出・退職者
(校長) 長内 明人
(総務課) 山本 淳子
(教務研修課) 佐々木祐一
木下 肖健
佐々木 健
(農産園芸課) 今川 貢
古川耕一郎
近藤 伸子
(畜産課) 渡辺 測子

行事予定

- 8月27日(日) オープンキャンパス
- 10月28日(土)・29日(日) 営大祭
- 12月20日(水)・21日(木) 校内プロジェクト発表会



営大Facebook QRコード

令和5年度入校式

令和5年4月7日



蝦名校長式辞



新入生代表の古川さん

令和5年4月7日、令和5年度青森県営農大学校入校式が行われ、青山副知事をはじめ、来賓、保護者が見守る中、畑作園芸課程25名、果樹課程13名、畜産課程4名、総勢42名の入校生がこの日を迎えました。

蝦名校長は式辞の中で、「社会に旅立つ前の準備期間。自ら目標を設定し実現に向け日々努力し、多くのことに挑戦しながら、学んでください。また、実習や自治会活動を通じて、自分とは異なる多様な価値観や考えを持つ仲間との友情を育んでください」と激励しました。

入校生を代表し、果樹課程1年の古川詩月（しづき）さんは、「将来について語り合い、青森県農業を支える志を育て、一生の仲間をつくる学び舎にしていきたい」と抱負を述べました。

一方、在校生を代表して、畑作園芸課程2年の小笠原希学生自治会長からは「様々な人との出会いを大切にしながら、多くのことを経験し、一緒に成長していきましょう」という歓迎のことばがありました。

あおもり農力向上 シャトル研修開講

令和5年5月9日



シャトル研修開講式



月2回開催の野菜1DAYセミナー

Uターン者や他産業からの新規参入等の就農希望者を対象とした「あおもり農力向上シャトル研修」の開講式を5月9日に行いました。

この研修は、就農希望地域の先進農家で研修を進めながら、営大で行われる講義や機械研修等を受講し、実践的な農業技術や作物の基礎的知識を身につける「シャトルコース」と、新規就農者等が知識や技術の学び直しを行う「リカレントコース」の2つのコースからなっています。

本年はシャトルコースに4名、リカレントコースに4名、合わせて8名の受講者が開講式に臨み、研修を開始しました。

シャトルコースの受講者は来年2月末までの10か月間、農家研修や講義及び農業関係に係る免許・資格の取得などを通して、様々な経験を積み重ね、実践的な知識や技術を身に付け、新規就農への夢の実現に向けてスタートを切りました。

4年ぶりの 東日本農業大学校等 親善球技大会

令和5年
5月23～24日



バスケットボールで
2位入賞！



華麗なアタックで攻撃！



長打連発？！

令和5年5月23～24日、東日本農業大学校等親善球技大会が福島県で開催されました。この大会は、東日本にある農業大学校の学生相互の親睦と交流を図ることを目的に、例年開催されてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止が続き、4年ぶりの開催となりました。

競技は軟式野球とバレーボール。軟式野球は野球部から14名が参加しました。バレーボールは男子の人数制限があり、本校に部活動もないため、バレーボール好きの有志を募り、12名が参加することになりました。

大会初日、5:40集合、6:00出発の強行スケジュール。高速道路のサービスエリアを楽しむ余裕もなく、6時間超の長旅で、12:30に福島県に到着しました。

この日、天気予報が的中し、福島県はあいにくの雨。軟式野球がバスケットボールに変更となってしまいました。しかしながら、日頃の特訓の成果(?)が実を結び、華麗なドリブルとパスさばきで、まさかの2位入賞となりました！大会2日目は晴天に恵まれ、軟式野球の交流戦を実施することができました。

バレーボールは入賞することはできませんでしたが、試合数をこなす度にチームワークが深まり学年を超えた楽しい試合となりました。

大会参加に当たり、1学年有志がデザインし、チームTシャツを作成。参加学生はお互い声を掛け合って、連日連夜に各競技を猛特訓！

チーム結成から1か月での大会参加でしたが、営大パワーを十分に発揮した楽しい大会となりました。



片道6時間の長～いバス旅行



参加者全員で記念撮影